

「新たな価値観に触れ、 よりよい生活を目指す家庭科教育」

—家族や幼児、地域の人との関わる力を
身に付けるための学習活動の工夫を通して—

愛知県中学校産業教育研究協議会 尾張地区

現代の中学生の現状

- ▶ 家族の形が複雑化しているが生徒がその現状を知らない。
- ▶ 高齢者、幼児や地域の方に接する機会が少ない。



家族に関心をもち、よりよい生活の実現を目指すために自ら工夫し創造することが大切

研究のねらい

(1) 「生徒の実態」について

身近に幼児はいるか



幼児との関わりはあるか



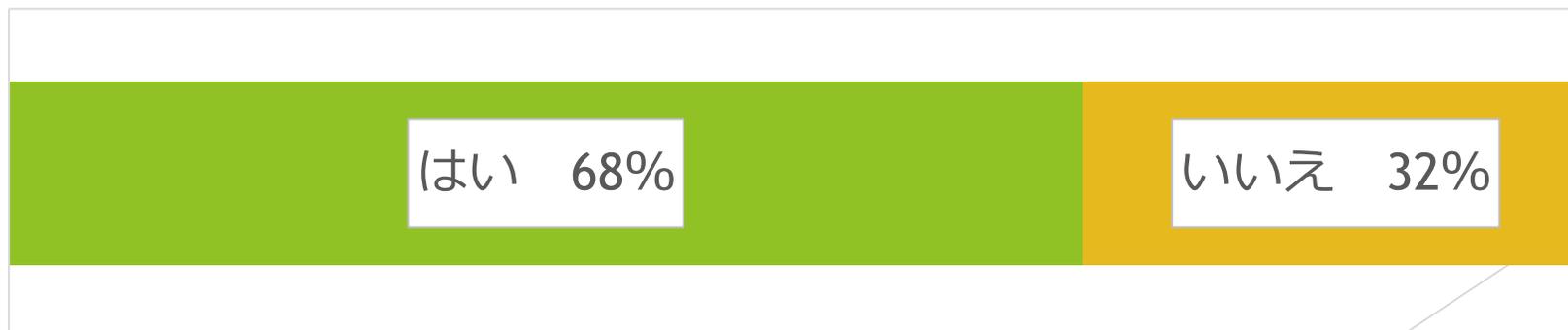
研究のねらい

(1) 「生徒の実態」について

高齢の家族と同居しているか



高齢者との関わりはあるか



研究のねらい

(1) 「生徒の実態」について

家族とは何か？の質問に対して

「血がつながっている」

「一緒に住んでいる」

「親子」

「子どもの成長の場所」

家族について深く考えるには至っていない⁵。

研究のねらい

(2) 目指す生徒像

よりよい生活の実現・持続可能な社会の
構築を目指すために



様々な視点を取り入れ、発想して、
自ら工夫し、創造することができる生徒

研究のねらい

(3) 研究の仮説

- ▶ 問い直しの場面の設定
- ▶ 振り返り活動の工夫



よりよい生活の実現と持続可能な社会の構築に向け、自ら工夫し創造する生徒

研究の内容

(Ⅰ)学習過程の検討

- | | | | |
|---|------------|----|--------------|
| 1 | 家族について考えよう | 8 | 幼児の遊び |
| 2 | 理想の家族像とは | 9 | 子どもとの触れ合い活動 |
| 3 | 幼児の体の成長 | 10 | 様々な年齢の子どもの特徴 |
| 4 | 幼児の心の成長 | 11 | 保育園訪問 |
| 5 | 幼児の生活習慣 | 12 | 高齢者の生活① |
| 6 | 幼児の食事 | 13 | 高齢者の生活② |
| 7 | 幼児の間食 | 14 | ライフプランを考える |

研究の内容

(2) 問い直しの工夫

- ▶ 新しい価値観と出会わせる
 - ・ 教材の工夫
 - ・ 生徒の意見（振り返り）
 - ・ 見方・考え方
 - ・ S D G s の視点

研究の内容

(3) S D G s との関連

- ▶ S D G s はこれからの社会を生きていく生徒に知ってほしい内容
- ▶ 4月の授業で S D G s の確認
- ▶ 授業内容と S D G s を関連させていく

研究の内容

(4) 振り返り活動の充実

- ▶ 思考を広げ、深めるとともに、次時の課題を見つけられるような活動
- ▶ 持続可能な社会に向かっているか評価
- ▶ 主体的に学習に取り組む態度の育成
- ▶ 普段の生活を見つめ直すきっかけ

研究の実践と考察「幼児の心の成長」 (1) 幼児が泣いている理由を考えよう

○ 幼児が泣いている理由
「おもちゃが欲しいから」
「自分の気持ちを伝えられないから」

○ 幼児への声かけ
「おもちゃをもう一つ
あげればよい」
「おもちゃを
取り上げればよい」



研究の実践と考察「幼児の心の成長」 (1) 幼児が泣いている理由を考えよう

- 自分が幼児だとしたら、大人に言われて嫌だと感じる関わり方



時間をかけて考えた。



問い直しの効果へ



研究の実践と考察「幼児の心の成長」 (2)心の発達のために、周囲の大人が できることを考えよう

- ▶情緒・社会性・言葉の発達段階の確認
- ▶幼児の心の発達に大切な関わり方を考え、発表



幼児が成長するには多くの人との関わりが重要
新しい考え方（価値観）に気付く

研究の実践と考察 「幼児の心の成長」 (3) よりよい幼児との関わり方を考えよう

「優しく声をかける」

「幼児を否定しない」

「幼児に話しかけるときは表情が大事」

「だめなことはだめと伝える」

幼児の関わり方について
考えを深めることができた。

研究の実践と考察 「幼児の心の成長」 (3) よりよい幼児との関わり方を考えよう

問い直しから

「幼児を否定せず、理解したい」

「男女差別する発言をしない」

「子どもの考えを尊重する」

▶ 根拠をもった解決方法を
導き出すことができた。



研究のまとめ

(1)成果

- ▶ 新たな視点で問題解決をし、よりよい考えをもつことができた。
- ▶ S D G s と関連付けられる生徒が増えた。
- ▶ 生徒自身が過去と将来の生活とを関連付けることができた。

研究のまとめ

(2) 今後の課題

- ▶ S D G s に関する深い理解
⇒ 他教科、総合学習との関連
- ▶ 問い直しを効果的な場面で
- ▶ 生徒が自ら工夫できる授業づくり

ご清聴
ありがとうございました。